

総務建設委員会 活動報告

令和7年度 牧之原市議会

【委員長】 濱崎一輝

【副委員長】 松下定弘

村田博英

中野康子

加藤彰

絹村智昭

石山和生

政策提言に向けた『所管事務調査』

牧之原市議会では委員会ごとに
所管事務調査事項を定め、1～2年で調査研究
を行い、市に政策提言を行っている

総務建設委員会では

2つのテーマを選定

1年目

昨年10月に
提言書を提出

①地域資源を活かした農業振興について

2年目

**②移住・定住人口増加に向けた
職住近接施策について**

②移住・定住人口増加に向けた職住近接施策について

テーマ選定の背景

当市は、人口一人当たりの製造品出荷額が県内でも高い水準を誇っており、**製造業が盛んなまちである**。しかし、**昼夜間人口比率（夜間人口100人当たりの昼間人口の比率）が県内トップとなっている（100を超えている）ことから、当市へ働きに来ている人は多いが、定住している人は少ないことが明らかとなっている**。

当市が今後発展していくためにも、若者の人口流出という大きな課題を解決することが重要であることから、若者が自由な職業選択ができるよう多種多様な企業誘致を進めるとともに、定住人口を増やすための魅力ある住宅施策（※職住近接施策）が必要である。

※職＝職業（仕事）、住＝住宅（住まい）

【これまでの取り組み】

市の所管課による勉強会

（１）産業経済部による「職業」（仕事）に関する勉強会

- スタートアップ支援事業、創業支援事業

（２）都市住宅課による「住まい」に関する勉強会

- 移住・定住促進事業、空家対策推進事業、空家利活用推進事業

【これまでの取り組み】

議会報告会での市民・高校生との意見交換会

(1) 市民との意見交換会（4会場の内2会場にて）

- 若者が自由な職業選択ができるよう、多種多様な企業誘致をどのように進めていくのか
- あったらしいなこんな住まいの応援サポート

(2) 高校生（榛原高校）との意見交換会

- 移住・定住人口増加に向けた
職住近接施策について



【これまでの取り組み】

移住者との市民会議 ※3つの項目

(1) 移住を決めたきっかけ

- 海が好きで海の近くに住みたかった。
- サーフィンがしたくて海に近いところで住まいを探していたら、よい物件があった。
- 親が元々住んでいたたり、友人が近隣市町に住んでいたため、親近感がわいた。
- 海の景観と共に、やさしい人柄が気に入った。



【これまでの取り組み】

移住者との市民会議

(2) 実際に住んでみての感想

- 自分のスキルが活かせる職探しに苦勞した。特に女性の雇用場所が少ないと感じた。
- 空家など希望にあった物件情報が、見つけにくかった。
- 交通の便が悪い。街灯が少なく暗い。公園が少ない。
- お金を落とすところ（お店など）が少ない。
- 人がやさしい（特に女性）。子ども達がしっかりしている。

【これまでの取り組み】

移住者との市民会議

(3) 移住者を増やすためには

- 女性や若者が自由に仕事選びができるよう、多種多様な雇用の場の充実。
- 不動産業者と市が連携するなど、空き家情報などの整理が必要。
- 交通アクセスの充実。補助金制度の充実。医療機関情報の充実。
- 移住者向けのコミュニティの充実。賑わい場所の充実。

【これまでの取り組み】

大和ハウス工業（株） との住宅事情に関する勉強会

（1）宅地関係

- 大型分譲地は、周辺環境等（交通、商業施設等）の立地条件が確保できれば可能。市内での可能性で言えば学校再編に伴う跡地であれば可能性あり。
- 3～5区画くらいの小さな分譲地の方が販売しやすい。
- サーフアーをターゲットというより、ファミリー層を意識した宅地分譲がよい。



【これまでの取り組み】

大和ハウス工業（株）との住宅事情に関する勉強会

（2）住宅関係（新築・中古、空き家、移住定住含む）

- 賃貸需要は、企業の単身者向けの需要あり
- 資材高騰で新築・中高市場ともに資金的圧迫が懸念される。
- 空き家と移住定住関係は、民間だけでの取組みには限界があり、行政の協力や補助金等が必要。
- 戸建て住宅では、空き家に関連した中古住宅の流通が増えていくが、コンセプトを持ったリノベーション等が必要。

【これまでの取り組み】

市内不動産業者との市民会議

- (1) 市内の不動産取引の現状と課題
- (2) 行政の支援や連携に関すること

※4/21日に開催するので、その内容を追加掲載

【重点項目】

職（企業）関係

- 多種多様な雇用の場の創出

住（住宅環境）関係

- 住居関係
- 市独自の支援
- コミュニティ形成

職住共通事項

- 学校跡地利活用

9月の政策提言に向け、引き続き調査・研究を進めてまいります。

令和7年度 牧之原市議会

総務建設委員会活動報告

ご清聴いただき

どうもありがとうございました